

舞鶴港港湾計画の概要（平成25年12月改訂） 目標年次：平成30年代半ば

〈基本方針〉

- ◆ 「日・中・韓・露等の人・もの・情報が交流する関西経済圏の日本海側ゲートウェイ」の実現を目指す。「物流・人流」「観光・交流」「連携」「地域振興」「安心・安全」「環境」の6つの将来像の実現に向け、おおむね平成30年代半ばを目標年次として、港湾計画を改訂する。
- ◆ 平成23年に日本海側拠点港に選定されたことを受け、国際フェリー・国際RORO船、国際海上コンテナ、外航クルーズ（背後観光地クルーズ）の3機能（以下、日本海側拠点機能とする）を充実させていくことを目指す。

【物流・人流】

～北東アジア等との近接性など地理的ポテンシャルを活かした人ともものが集まるみなとづくり～

- ◆ 地理的優位性を活かした物流拠点機能強化と太平洋側港湾との機能分担
- ◆ 港全体の再編・集約により、国際フェリーやコンテナ、バルク貨物も含めたバランスの良い内外貿機能の強化による物流・人流機能の強化

【観光・交流】

～港の景観・環境を活かし、広域的観光拠点ともなる交流・憩い・潤いのあるみなとづくり～

- ◆ 京都のブランドを活かした北東アジアからの人流促進による観光振興の推進
- ◆ 魅力あるウォーターフロントを核とする港を活かしたまちづくり

【連 携】

～日本海側諸港との連携や官民の連携など連携と協働によるみなとづくり～

- ◆ 日本海側諸港と連携した航路誘致やポートセールスの推進による日本海側拠点機能の強化
- ◆ 経済界とのさらなる連携や民の視点の導入など官民が連携した港湾振興

【地域振興】

～新規産業誘致と港湾機能の充実等による日本海側地域の活性化につながるみなとづくり～

- ◆ 舞鶴港を活用した物流拠点や港湾背後地への企業立地の促進
- ◆ 日本海沿岸クルーズの推進を通じた観光振興による地域活性化
- ◆ 西港の既存ふ頭の機能再編と横持ち輸送解消による東港周辺企業の支援

【安心・安全】

～日本海側のみならず対岸諸国の支援機能を有する災害に強く安全で秩序あるみなとづくり～

- ◆ 太平洋側のバックアップ機能と海事機関の集積を活かした防災拠点機能の強化
- ◆ 既存ストックの適切な維持管理による有効利用とプレジャーボート対策や港湾保安対策の推進

【環 境】

～豊かな自然環境を育み、新エネルギー・リサイクル産業の集積等により地球環境に寄与するみなとづくり～

- ◆ 地球環境に寄与するリサイクル企業の誘致とリサイクル貨物の集積の促進
- ◆ フェリー物流・人流の拡大によるモーダルシフトの推進によるCO2排出量の削減
- ◆ 若狭湾国立公園等優れた自然景観・環境の保全や環境関連企業の誘致によるエコポートの取り組みの推進